

# 列車制御システムの設計仕様書の 安全性確認手法

A Method to Verify System Requirements Specifications  
Based on Safety Requirements for Train Control Systems

## 【概要】

列車制御システムにはフェールセーフ性が求められます。近年、相互接続される機器の増加、保守性や稼働率の向上のための機能の増加等により、システムの大規模化、複雑化が進み、安全性確認に多くの労力を要します。そこで、鉄道事業者がシステム全体を把握するため、またメーカーがサブシステムを設計するために必要となる、システム全体の動作を定義するシステム設計仕様書を対象とした確認手法を作成しました。

## 【特徴】

提案手法はシステム開発の最上流に位置するシステム設計仕様書における論理誤りや定義漏れ、複数装置間での仕様の不整合(図1)を低減します。

安全要件に関わる仕様が定義されていることを、システムを構成する機能単位で定めた安全要件のフォーマット(図2)を使用して確認し、機能間での記載内容の整合性を確認します。(図3)

安全要件のフォーマットは対策の優先順位や適用箇所を考慮して決めました。また、これら確認作業の容易化のため、支援ツールを試作しました。(図4)

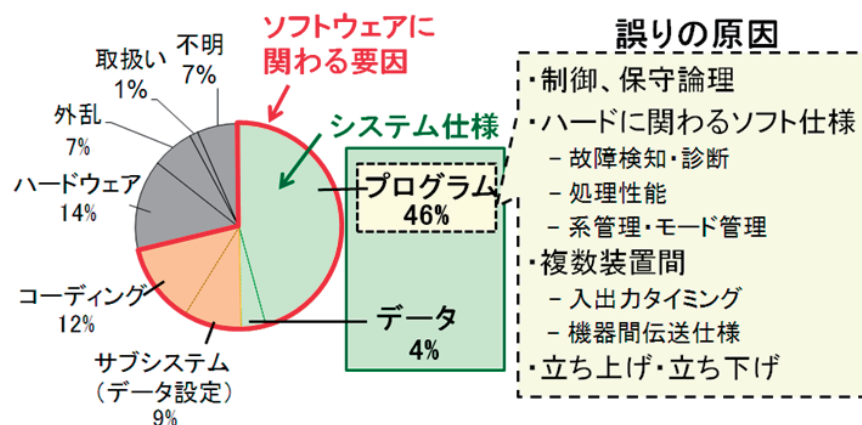


図1 電子連動端末部相当の開発段階での試験  
(5か月間)の障害分析結果

## 【用途】

列車制御システムの設計仕様書の確認を目的とし、仕様誤りの低減、新規システムの設計仕様書作成支援に役立ちます。

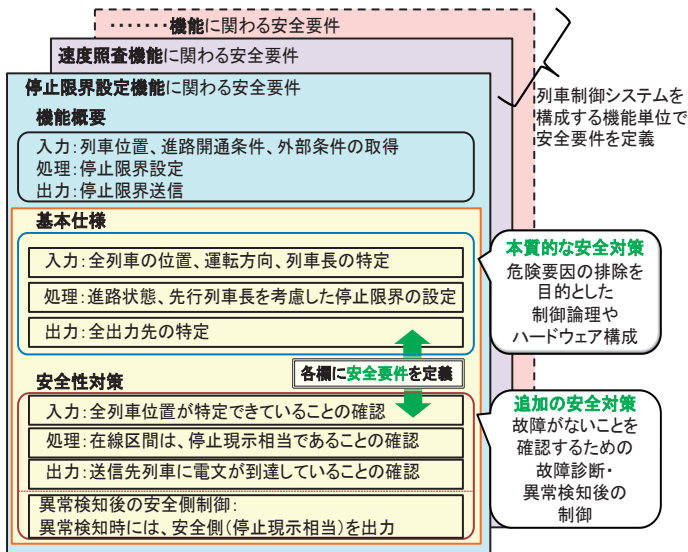


図2 安全要件のフォーマット

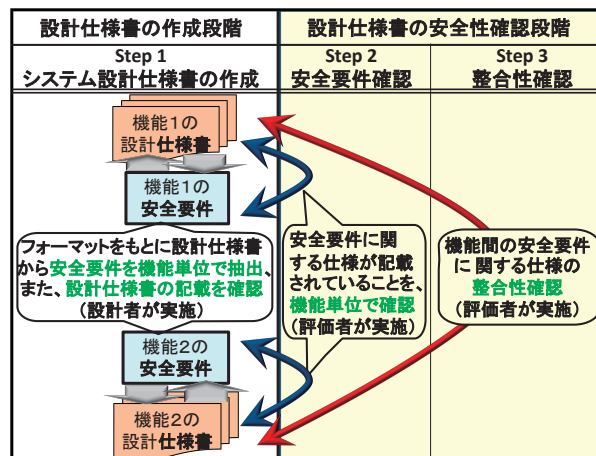


図3 安全性確認手法

機能名 停止限界設定

管理区分 集中

機能ID F4 章節番号 4.1.4

(1) 列車位置、進路開通条件、外部条件の取得 : 全列車位置、全ての進路の開通条件、外部条件を取得する。  
(2) 停止限界設定 : 進路の設定状況、全列車位置、外部条件  
(3) 停止限界送信 : 各列車の車上制御装置、もしくは、地上信  
(4) 安全側制御 : 停止現示を出力する

各安全要件と仕様書との関連づけ

FTA(故障木解析)との関連づけ

基本仕様の確認項目			安全性対策の確認項目		
● 入力	ID	接続先	● 入力	ID	接続先
	F3F5	FSS1-		MC4MS4M4HMF4I	F3F5
		入力条件			入力条件
		FSS1-			FSS1-
		章節番号			章節番号
		4.1.4(1)①			4.1.4(1)②
		仕様書検索			仕様書検索
		仕様書確認			仕様書確認
		<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>
● 出力	ID	接続先	● 出力	ID	接続先
	F3F5	FSS0-		MS4OM4OMF4O	F3F5
		出力条件			出力条件
		FSS0-			FSS0-
		章節番号			章節番号
		4.1.4(2)①			4.1.4(2)②
		仕様書検索			仕様書検索
		仕様書確認			仕様書確認
		<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>
● 処理	ID		● 処理	ID	
				MS4PM4PMF4P	
		章節番号			章節番号
		4.1.4(3)①			4.1.4(3)②
		仕様書検索			仕様書検索
		仕様書確認			仕様書確認
		<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>
備考	安全側:誤った停止限界設定(停止側)、危険側:誤った停止限界設定(進行側)				
	ID			ID	
				T4	
		章節番号			章節番号
		4.1.4(4)			4.1.4(4)
		仕様書検索			仕様書検索
		仕様書確認			仕様書確認
		<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>

この機能を削除 FSCPUボード安全確認項目の入力 印刷 閉じる

図4 安全要件の確認画面の例

特許出願中。

公益財団法人鉄道総合技術研究所  
信号・情報技術研究部 列車制御